

# 当院で造血器疾患に対して治療を受けた患者様へのお知らせ

研究責任者： 東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野/  
附属病院 血液腫瘍内科 准教授・小沼貴晶

東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野・血液腫瘍内科では、患者様の試料・情報を使わせていただき、以下の研究を行います。下記2. に該当する患者様で、試料・情報が本研究に用いられることを希望されない方は、下記7. の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありませんのでご安心ください。なお、お申し出の時点において、すでに試料・情報を用いた研究結果がデータ解析を終えている場合には、その研究結果については破棄できないことをご了承ください。

## 1. 研究課題名：造血細胞移植合併症の分子機構の解明

### 2. 研究の対象となる方と用いる試料・情報：

東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科で造血細胞移植の診療を行なった患者さんで、『臨床検体を用いた表面マーカー解析』（承認番号：27-19-0713）、『臨床検体を用いた表面マーカー解析 2』（承認番号：2019-86-0319）、『造血器疾患の治療合併症における常在細菌叢の意義』（承認番号：29-90-B0328）、『ワクチン接種や感染症における抗原特異的免疫原性の評価法に関する研究』（承認番号：2021-64-1216）、『余剰検体の保存および使用に関する同意書』、または『追加採取検体の採取・保存・および使用に関する同意書』にご同意いただいた方の以下の凍結保存されている試料、情報を利用させていただきます。

試料：血液、骨髓液、便検体

情報：年齢、性別、合併症、疾患の種類や病期、血液検査データ、造血細胞移植やその合併症 等

### 3. 研究の目的と方法：

造血器疾患の根治的治療法である造血細胞移植は、移植後早期に移植前処置に伴う臓器障害、感染症、ドナーによる免疫反応とされる移植片対宿主病(GVHD)や、臍帯血移植後に特徴的に出現する生着前免疫反応(PIRあるいはPES)などが知られていますが、移植後早期に単独あるいは併発して出現することも多く、それらの病態の分子機構レベルでのメカニズムは明らかとされていません。我々の研究室では、造血細胞移植の合併症に対する新規治療法の開発を目的に研究しています。そのため、当院で造血器疾患の治療を受けられた患者様の上記の試料・情報を利用させていただき、免疫細胞、血清因子や常在微生物叢と移植後合併症との関連などを評価する予定です。

### 4. 個人情報の取扱い：

試料・情報には患者様を直ちに特定できる情報はつけず、研究用 ID をつけて利用させていただきます。研究用 ID と患者様を特定できる情報を記載した対応表は、当院の個人情報保護管理者が厳重に管理します。

### 5. 研究期間等：

研究期間：2026年3月12日～2030年3月31日

試料・情報の利用開始予定日：2026年3月27日

## 6. 研究実施体制：

研究責任者 東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野 准教授 小沼貴晶

研究分担者 東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野 教授 南谷泰仁

## 7. ご質問・ご相談、ご辞退のお申し出に関する連絡先

本研究に関するご質問・ご相談、または、試料・情報が本研究に用いられることを希望されない場合には下記までご連絡下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧出来ますのでお申し出下さい。

### <連絡先>

担当者：小沼貴晶 東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野/附属病院 血液腫瘍内科

電話番号：03-5449-5429

メールアドレス：tkonuma@ims.u-tokyo.ac.jp

### 【東京大学医科学研究所】

研究所長名：岩間 厚志

住所：東京都港区白金台 4-6-1

ホームページ：<https://www.ims.u-tokyo.ac.jp/>

研究倫理支援室：<https://ore-imsut.jp/>